

この添付文書をよく読んでから使用してください。

体外診断用医薬品

**2017年7月改訂(第3版)
*2016年8月改訂(第2版)
製造販売届出番号 01A2X00013000016

一般名: 血液検査用総蛋白キット

総蛋白測定用

「セロテック」 T P - L

Biuret法

【全般的な注意】

- 本品は体外診断用医薬品であり、それ以外の目的に使用しないでください。
- 測定結果に基づく臨床診断は、臨床症状や他の検査結果などとあわせて、担当医師が総合的に判断してください。
- この添付文書に記載された使用方法に従って使用してください。記載された使用方法及び使用目的以外での使用については、測定値の信頼性を保証しかねます。
- 測定機器は取扱説明書に従い、適切な条件下で使用してください。なお、詳細については機器メーカーにお問い合わせください。

【形状・構造等（キットの構成）】

呈色試液（溶液）
硫酸銅 6.0 mmol/L

【使用目的】

血清又は血漿中の総蛋白の測定

【測定原理】

検体中の蛋白はアルカリ性下で第二銅イオン（ Cu^{2+} ）と錯体を形成します（ビウレット反応）。この呈色反応物を比色測定し、総蛋白濃度を求めます。

【操作上の注意】

測定試料の性質、採取法

- 検体を保存する場合には濃縮や細菌の繁殖を防ぐために密栓して冷蔵保存（ $2\sim 10^{\circ}C$ 、1週間以内）あるいは凍結保存（ $-20^{\circ}C$ 以下、1年間以内）してください。
- 本試薬による測定には、血清および血漿を検体として使用してください。
- 一般に使用されている血清分離剤、凝固促進剤、ヘパリン、血漿分離剤（ポリエステルゲル）、解糖阻止剤による影響はありません。

妨害物質・妨害薬剤

- ビリルビン、アスコルビン酸などの共存物質は通常の濃度では影響ありません。
- 高濃度のヘモグロビンは正の影響を与えます。

【用法・用量（操作方法）】

試薬の調製方法

- ①反応液：呈色試液をそのまま使用します。
開封後、 $2\sim 10^{\circ}C$ 保存で2週間安定です。

*②検量物質は別売のキャリブ-S Tをご使用ください。

測定（操作）法

操作方法は自動分析装置により異なります。詳細な操作方法は各機種のパラメーターをご請求ください。

測定条件（日立-7170Sの例）

分析法/測定ポイント：1ポイントエンド 34-0
波長（副/主）：700/546nm
検体量：3.3 μ L
試薬分注量(R1)：200 μ L
試薬分注量(R3)：0 μ L

（日立-7170Sでの第二試液はR3の設定になります。）

【測定結果の判定法】

参考基準範囲

血清：6.7～8.3g/dL
（金井 他、臨床検査法提要、改訂第33版、金原出版、p.403,2010.）

【性能】

性能

- 感度試験
①精製水を試料として操作した場合の吸光度変化量は $-0.20\sim -0.05$ です。
*②7.0g/dL濃度の標準液を試料として操作した場合の吸光度変化量はブランクを差し引くとき $0.23\sim 0.39$ です。
- 正確性試験
濃度既知の管理用血清（ヒトプール血清）を測定するとき、既知濃度の $\pm 10\%$ 以内です。
- 同時再現性試験
同一検体を5回同時に測定するとき、測定値のCV値は 5.0% 以下です。
- 測定範囲
本キットにおける血清中の総蛋白濃度の測定範囲は $0.1\sim 12$ g/dLです。

相関性試験成績

同一の測定法を採用している市販品との相関性は $y=0.983x+0.06$ （Y：本法）、 $r=1.000$ でした。

較正用基準物質

** NIST SRM 927（キャリブ-S T使用の場合）

【使用上又は取扱い上の注意】

取扱い上（危険防止）の注意

- 試料（検体）はHIV、HBV、HCV等の感染の恐れがあるものとして取り扱ってください。検査にあたっては感染の危険を避けるため使い捨て手袋を着用し、また口によるピペティングを行わないでください。
- 試液には直接触れないように注意してください。誤って目や口に入ったり、皮膚に触れた場合には、水で十分に洗い流す等の応急処置を行い、必要があれば医師の手当て等を受けてください。

使用上の注意

- 試薬は指定された条件下で保管し、使用期限を過ぎたものは使用しないでください。
- 誤って凍結させた試薬は使用しないでください。正しい結果が得られないことがあります。
- 試薬の開封後はなるべく早く使用し、保存する場合は蓋を閉めて指定の条件で保存してください。

- 測定範囲を超える検体については、精製水あるいは生理食塩水で希釈して再測定してください。得られた値に希釈倍数を乗じたものが測定値となります。
- 製造（ロット）番号に関わらず、試薬の注ぎ足しは行わないでください。ロット変更後はキャリブレーションを実施して使用してください。
- 検量用物質は別売品を使用してください。
- 他項目の測定用試薬中にアルブミンを含有するものがある場合、反応セルへ吸着しないことを確認してください。また、そのような試薬が本品に混入しないように注意してください。

廃棄上の注意

- 検体と接触した試薬及びサンプルカップ等は感染の危険性があるものとして処理してください。
- 呈色試液はアルカリ水溶液ですので、排水する場合は中和して排水してください。
- 試液中にはアジ化ナトリウムは含まれていません。

【貯蔵方法、有効期間】

貯蔵方法

室温（1～30℃）に保存

有効期間

製造後2年（有効期限は瓶ラベルに記載）

**【包装単位】

製品コード	製品内容	包装形態
A685-00	呈色試液 (LABOSPECT用ボトル)	60ml×2
A685-72	呈色試液 (ビオリス用ボトル)	20ml×4
A685-50	呈色試液 (Accute用ボトル)	40ml×2
A685-93	呈色試液 (Abbott用ボトル)	52ml×4
A545-15	呈色試液	60ml×4
A545-10	呈色試液	80ml×4
A545-30	呈色試液	150ml×3
A545-90	呈色試液	300ml×3
A545-40	呈色試液	400ml×3

【主要文献】

- 河合 忠，血漿蛋白その基礎と臨床，医学書院(1969)。
- 坂岸良克，臨床化学分析Ⅱ 第1版第4刷，東京化学同人，115(1973)。
- 平山千里，右田俊介，血漿タンパク質構造・機能・病態，医歯薬出版(1979)。

【問い合わせ先】

株式会社セロテック 企画開発室
〒066-0051 千歳市泉沢1007番地67号
TEL：0123-28-2121 FAX：0123-28-2113

製造販売元



株式会社 セロテック

千歳市泉沢1007-67